

BILZARD
ENTERTAINMENT

OVERWATCH 2

ティア・イット・ ダウン

FRED
KENNEDY

HANNAH
TEMPLER





ティア・イット・ダウン



フィンドレー・ドカティーは幼いころから、社会を動かす体制だけを信用して生きてきた。社会の一員として、あらかじめ決められたルールに則って生活し、軍人になることが己の道だと信じて。だが、その先で彼を待ち受けていたのは、予期せぬ大惨事と、体制の非平等性がもたらした心身への耐えがたき苦痛だった。すべてを失ったフィンドレーは、ボディー・モッター（身体改造者）、ハッカー、アナキストからなる集団「フリークス」に加入。彼らのもので、苦痛を取り除くと同時に、自身を苦しめていた体制の醜態を目の当たりにしていく。やがて彼は、体制にすべてを捧げてきた人生を捨て、「ハザード」へと生まれ変わることを決意するのだった…。

作者 **FRED KENNEDY** アート **HANNAH TEMPLER** 英語活字デザイン **ANDWORLD DESIGN** カバー **HANNAH TEMPLER**

BLIZZARD ENTERTAINMENT

シニア・ディレクター、ストーリー＆フランチャイズ・デベロップメント **VENECIA DURAN**

シニア・マネージャー、ライティング&ブックス **MATTHEW COHAN**

エディトリアル・スーパーバイザー **CHLOE FRABONI** シニア・ブランド・アーティスト **COREY PETERSCHMIDT**

プロダクション **BRIANNE MESSINA, TAKAYUKI SHIMBO, AMBER PROUE-THIBODEAU, LAURA WOODWARD**

ゲーム・チーム・コンサルタント **JEFF CHAMBERLAIN, NESSKAIN, DION ROGERS, JUDE STACEY**

スペシャル・サンクス **ANGEL GIUFFRIA**



Blizzard.com

© 2024 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。Published by Blizzard Entertainment. 本作品はフィクションです。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者または作画者の想像による産物または架空のもので、実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。Blizzard Entertainmentは著者や第三者のウェブサイトもしくはそのコンテンツを管理しておらず、またそれらについて一切の責任を負いません。



この世界はがんじがらめ

力を持った奴らが作った...

民の“幸福”だの“平等”だのを謳う体制...



ガキの頃は
そん中で生きるしかなかった

誰だってそうや



だけど体制は
俺達を競い合わせた

当然やろうな

それこそが奴らの狙いなんやから



退役軍人だった
両親の支援金で食いつなぐ日々

でも戦争にクライシス...
糊口をしのぐだけでは**不十分**やった

俺が4才の頃
お袋は出てった



お偉い体制は...
人の心なんぞ歯牙にもかけん



生きてさえいればええ...
重要なのは体制を支えられるかどうかだけや



当時はそれがわからなかった

俺はただ...
外に出たかった

学べば道は開けると言われ
学費のために軍に入った

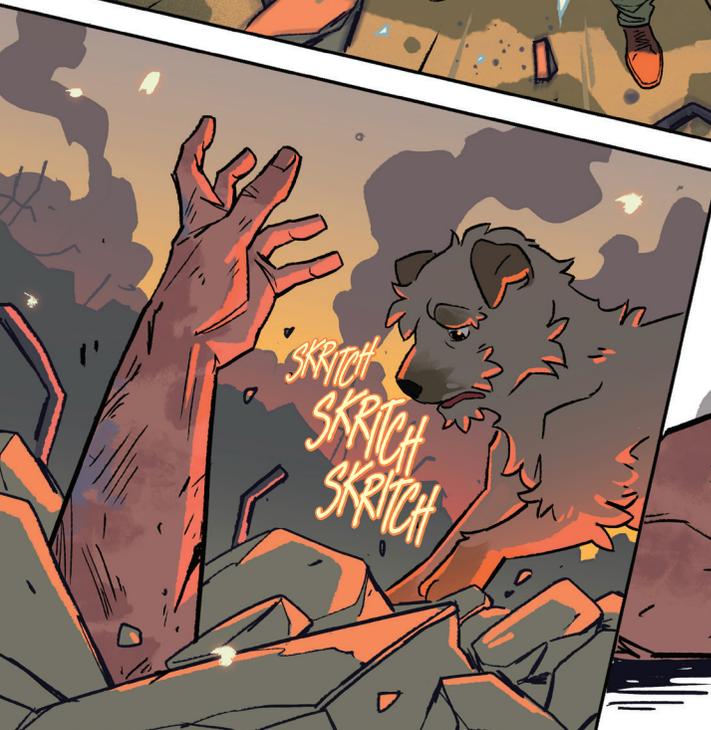


ようやく大成できたと思った...

誰かの役に立ちたい...



そうすれば体制が
俺を守ってくれると信じとった——



ARF!

...アホやった



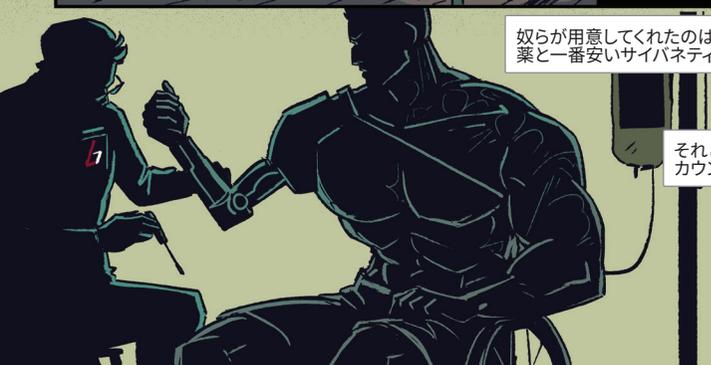
命があっただけ運が良かったと言われた



全身に広がる激痛...
とても幸運とは思えなかった



グラスゴーから生中継です
所属不明の機体がオーバーウ
ォッチ所属機を撃墜しました
現在のところ死者は14名
負傷者は50名以上に上るとのこと



奴らが用意してくれたのは
薬と一番安いサイバネティクス...

それと月に1度の
カウンセリングだけ



...コマンダー・
モリソンの主導で
事故処理が
進められています
氏は被害者へ
哀悼の意を...



原因を究明するとも...

再発を防ぐとも言わなかった

でも奴らとは違い
それを重視する連中があると聞いた

あー
身体を改造してくれるって
聞いたんやが...

tap tap

REVEL

SHARK

おい
大声出すな!

サツにバレたら
どうする!

“フリークス”

悪者扱いされとる奴らや
違法とされる技術が集まった
いわば“社会の脅威”...

TOUCH-UP

でも...それは体制側の言い分

全部奴らの決めつけや

強化部品のおかげで
痛みが消えた

はじめて
独りやないと思えた

身体の痛みだけでなく...
あらゆる痛みが

...はじめての仲間

...むしろ家族やな
心からそう思える連中に出会えた

BOOMSLANG

JACKDAW



世界は俺らに傷跡を残した...

SUSANNAH

でも本当の責任は体制にこそある

人に番号を割り振って
管理するような体制は...





今週
モロッコの研究施設が
フリークスの襲撃を受けました

幸いにも
オアシスと共同開発された
監視網と犯罪予測モデルが
効果を発揮し...

また犠牲が出た...
俺らの仲間が

なのに
何にもできんのか!

...そんなことない

リモート接続中

オアシス遺伝学担当大臣
アクセス承認

何やそれ?



オアシスが
奪われたくないものよ

わざわざ俺らを攻撃して...

大事なお宝の場所を
教えてくれたんか?



えらく間抜けな連中やな

それじゃあ連中の
虎の子の武器をいただいて...



...連中自身に向けたる

見事な
強化部品やな...

この壊れた世界を
俺らの手で直したる

HAZARD

そのためにすべてを
ぶっ壊さんといかんとしてもな

